

「JICA 中部なごや地球ひろば」訪問記

世界教養学科 3 年

加納梨花

今回の訪問で一番印象に残っているのは後藤千明さんのアラビア文字に対する情熱です。海外青年協力隊のことや、移民のことじゃないのか！、という言葉が聞こえてきそうですが。自分の好きなことを紹介するときの熱意は聞いている側に一番伝わることです。そして、その熱意は聞き手に影響するとわたしは思っています。アラビア文字って難しそうという印象しかなかったものが、後藤さんの話を聞き、アラビア文字で書かれた絵本を見て、あれ？、アラビア文字ってこんなに綺麗だったかな……、と実際にアラビア文字に惹かれている自分がいます。そして、後藤さんはその好きなアラビア文字を武器にして、それが今の仕事に繋がっています。自分の好きなことからやりたいことを見つけて、実際にやりがいのある仕事に就いている後藤さんは、とてもかっこいいなと感じました。大学 3 年生である私は、もう本格的に就職活動をする時期にきています。私が目指している職種とは全く違いますが、後藤さんは私の中でとても理想的な働き方をしている人です。

もちろん、海外青年協力隊の活動についてもとても興味深いお話でした。やはり、大きなイメージとして、学校を建てたり医療に従事してないと協力隊の一員にはなれないと思っていました。だから、私には関係ないことだとも感じていました。しかし、今回のお話を聞いて、わたしにももしかしたらできることはあるのではないかと考えを変えることができました。5S 活動(「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」のローマ字の頭文字をとって「5S」)や掃除当番表など、わたしたちが小中学校で当たり前のように行ってきたことを新しい活動として他国に提案するのは、一つの文化交流のようで面白いなと思います。わたしたちにとってはそれが当たり前だし、もしかしたら他国の当たり前のことを日本に取り入れることでよりよい生活、社会を作ることができるかもしれません。

今回の JICA 訪問ではさまざまな新しいことを学ぶことができ、とても有意義なものとなりました。